

中央動物総合専門学校 動物総合学科

令和4年度学校関係者評価委員

■保護者

田名網 智子 様

動物総合学科ペット美容コース田名網空さん 保護者

■企業関係者

菊田 和美 様

ドッグサロンフェリーチェ オーナー

■他校関係者

滝口 智子 様

中央調理製菓専門学校静岡校 製菓衛生師科 教員

1. 教育理念・目標

【自己評価結果】

		平均
1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか。	A
2	教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。	B
3	教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか。	B
4	組織での目標設定が適切にされ、実行できたか。	C
5	鈴木学園クレドは教職員に浸透し、実践されているか。	B

【現状の問題点】

令和3年度に続き、組織目標の評価が低い。全体で同じ方向を向いて仕事をしていくことを重視する必要がある

【改善のための方策】

目標の共有化、フィードバック機会の増加などを通じて改善点を明確化した定量的組織目標を共有していく

【関係者評価】

--

2. 学校運営		
【自己評価結果】		平均
5	目標を達成するための事業計画が策定されているか	B
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	B
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	C
8	就業規則などの諸規定は適切に整備されているか。	B
9	組織内の連携は適切に図られているか。	C
10	上司の指示は適切にされているか	B
11	上司は提案を受け入れてくれているか	B
12	職場内での教職員教育・指導は充分なされているか。	C
13	BSCは適切に活用されているか。	C
【現状の問題点】		
十分な教員数を確保することができず、学校全体として業務が滞りがちだったことが大きな原因である		
【改善のための方策】		
業務の効率化を行い、頻繁に共有・打ち合わせを実施する。 新入教職員が複数名入職したため、一人一人の業務軽減が期待される。引き続き業務分担と業務進捗の情報共有を意識しながら業務にあたる。		
【関係者評価】		

3. 教育活動		
【自己評価結果】		平均
14	授業評価の実施・評価体制はあるか	B
15	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	B
16	資格試験の合格率は他校と比較して妥当か。	B
17	資格試験の不合格者の対策は適切に行われているか。	B
18	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	A
19	目標に到達しない学生には対し適切なフォローがなされているか。	B
20	職員の能力開発のために研修等を実施若しくは派遣しているか	B
20	シラバスは十分に検討し作成されていたか。	C
21	シラバスの内容見直しについて教員間で検討されていたか。	C
22	教務の問題について、組織内で適切に話し合われているか	B
23	十分に余裕を持って教育行事の準備が出来ているか。	C
24	学生による学校評価を反省し、事後の教務を改善しているか。	A
【現状の問題点】		
教員が期待する教育効果を出すことが未だ十分にできていない。授業計画・学校行事計画などにもっと時間を割くべきである。		
【改善のための方策】		
昨年度作成したシラバスをもとに、完成に向けて進めていく。 コース会議で協議し、学校年間行事計画をもとに各行事の計画を検討する。 授業に限らず学校活動全てにおいて学生にその目的をしっかりと説明する		
【関係者評価】		

4. 学修成果		
【自己評価結果】		平均
26	就職率の向上が図られているか	B
27	退学率の低減が図られているか	C
【現状の問題点】		
就職は質・量ともに高いレベルを維持できたが、一方で学校生活に意義を見出せない学生も出ている。早期に問題を発見して真摯に対応するような組織が未熟である。		
【改善のための方策】		
全コース就職率に関しては、指導が難しい学生に関しても内定をもらうことができた。難関とされる		
【関係者評価】		
5. 学生生活支援		
【自己評価結果】		平均
28	学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか。	B
28	各学校行事について、適切な事後反省を行い次回に活かしているか。	B
29	防犯・防災訓練の実施・防災計画の作成等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。	B
30	進路活動に関する支援が整備され、機能しているか。	B
31	中途退学の理由、実状を適切に把握し、教職員で共有しているか。	A
【現状の問題点】		
会議に十分な時間を割けないなかで、反省と改善に関しては毎回怠ることなく遂行できた。		
【改善のための方策】		
スモールミーティングを積極的に設け、改善点や反省点を共有する。職員全体で意識改善、学生支援についての情報共有を密に行う。		
【関係者評価】		

6. 教育環境		
【自己評価結果】		平均
33	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	B
【現状の問題点】		
教育機器備品は徐々に整備されつつあり、教育の質の向上に寄与している		
【改善のための方策】		
要請と需要に合わせた施設・設備の整備を日頃から点検する。		
【関係者評価】		

7. 学生の受け入れ募集		
【自己評価結果】		平均
34	学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法, 時期は適切か。	B
34	入学案内(パンフレット)には志願者が必要とする情報が掲載されているか。	A
35	体験入学の時期、回数、内容は適切か。	B
36	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。	B
【現状の問題点】		
学生募集に関しては教職員協働してよく実行している。オープンキャンパスで学校の魅力を十分に		
【改善のための方策】		
今まで全員出勤で対応していたが、状況に応じて一部教員が休めるようにするなど、負担感を減ら		
【関係者評価】		

8. 財務		
【自己評価結果】		平均
38	・中長期的に所属学科の学費納入基盤は安定しているといえるか	B
39	・学科で策定した予算・収支計画・執行は有効かつ妥当なものになっているか	B
【現状の問題点】		
予算執行の管理をする立場の役職者が不足している。予算を意識しながら運営できるように整備を		
【改善のための方策】		
予算執行については日々相談しながら実行していく。経費意識を持ち、経費削減を目標とする。		
【関係者評価】		

9. 法令等の遵守		
【自己評価結果】		平均
40	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	B
40	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	B
41	個人情報保護法を遵守しているか。	A
42	各種ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。	B
【現状の問題点】		
個人情報が多い学校という業種なので個人情報保護意識をより高めていく必要がある。		
【改善のための方策】		
個人情報保護法の法律が変わって罰金等の規定ができたため、教職員一同管理を徹底していく。紙媒体で学生情報を管理せずに、データ管理を推奨する。		
【関係者評価】		